

2021年1月号 セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆さまへ

長期投資家の皆さま、あけましておめでとうございます。2020年の金融市場は新型コロナウイルスで激動の1年でした。春先にリーマンショック時を超える短期間で株価急落が世界中の市場を震撼させましたが、その後は主要国の大胆な金融緩和取行が債券市場で低位に金利水準を押し下げ、財政資金の果敢な投入が景気持ち直し期待を高めて、年を終えてみれば世界的な株高の1年となったわけです。殊に年の瀬に近付いてからは、ワクチン開発進展の期待が高まって、米ダウ平均株価が史上最高値を更新するなど、米国のみならず欧日先進国も上昇基調を加速させることになり、主要国の長期金利低位安定下で緩和マネーは自ずと株式市場に流れる特異な金融環境もマーケットの株買い安心感を高めているようです。

新型コロナの収束は未だ世界中で目途が立たない現状ですが、コロナ後も経済下支えのため金融緩和状況は長期化するとの見通しもあって、アフターコロナの景気急回復期待を世界の株式市場は過剰に織り込んだ状態とも言えるほど、今ある実態経済とマーケットは時間軸による乖離が甚だしくなっています。一方で、コロナ禍によって急速に進展したネット・デジタル系事業が提供する製品やサービスは生活様式と社会通念を抜本的に転換させる起爆剤となって、コロナ後も更なる進化が想定されることから、特にIT系産業で高付加価値を実際に先導して生み出している米国経済の本源的強さと、たとえば残念ながらデジタル化の遅れが顕在化している日本経済の脆弱性とで産業界の明暗が分かれる中、株式市場が世界全体に楽観的上昇を続ける流れは、やがてマーケットの自律調整機能が本源的優劣を峻別する局面が訪れた時、市場全体の過熱感とともに修正されていくことになるのでしょうか。

ところがそうした市場の大きな潮目の変化がいつ訪れるのかは予測困難であり、2021年もいざばんだ大切なことは、短期的値動きに翻弄されず投資を継続させて行くことで、長期的な経済成長軌道にトレースし続けることなのです。「セゾン号」は相変わらず地球経済のメガトレンドを見据えて、泰然自若とすすんでまいります。本年も長期投資の旅をどうぞよろしく願いいたします。

代表取締役会長CEO 中野 晴啓

ご留意事項

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。投資信託に係るリスクや費用等は、それぞれの投資信託により異なります。投資元本の保証はありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

委託会社:セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口:03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00(土日祝日、年末年始を除く)

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

12月の市場動向

株式

新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されたことを受けて経済活動の正常化への期待が高まって上昇

新型コロナウイルスの感染拡大が続いているものの、ワクチンの接種が開始されたことを受けて経済活動の正常化への期待が高まったほか、米国で追加の経済対策が打ち出されたことや、通商合意がない状態での英国の欧州連合(EU)離脱が回避されたことを受けて安心感が広がり上昇しました。

債券

安全資産としての需要が低下したほか国債の発行拡大観測が高まったことを受けて米国を中心に軟調な展開

経済活動の正常化への期待が高まったことを背景に安全資産としての需要が低下するなかで、ユーロ圏の国債は欧州中央銀行(ECB)が追加の金融緩和策を打ち出したものの力強さを欠く展開となり、米国債は米国で追加の経済対策による国債の発行拡大観測が高まったことを受けて下落しました。

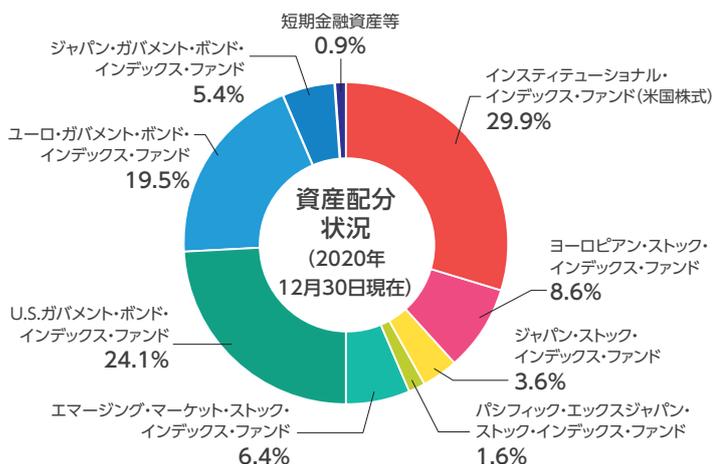
為替

リスク選好が強まるなかでドルが下落し、ユーロが上昇。円も軟調に推移し、対ドルで円高、対ユーロで円安

経済活動の正常化への期待などを背景にリスク選好が強まってユーロが堅調に推移する一方で安全資産としての需要が低下したドルや円は軟調な展開となり、ドルは米国で政府による追加経済対策が打ち出されて財政収支や経常収支の赤字拡大観測が高まったことを背景に円に対しても下落しました。

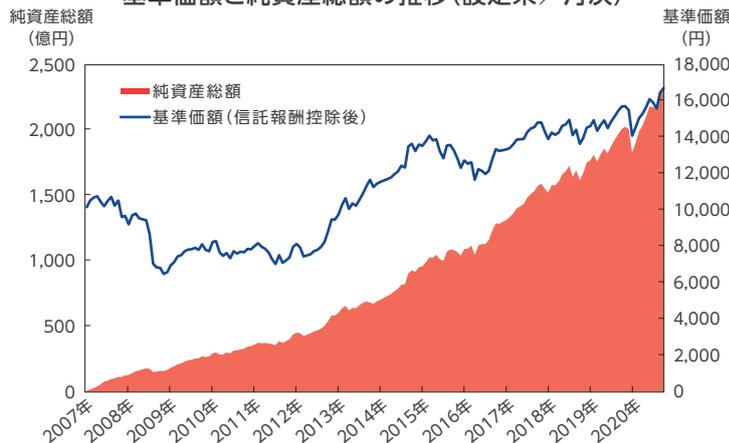
基準価額と純資産総額及び騰落率(2020年12月30日現在)

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
16,678円	2,325.3億円	66.78%	1.52%	9.18%	6.50%



※資産配分状況は小数点第2位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次)



12月の運用状況

今月の投資スタンス

今月は、株式市場が上昇したことを受けて、前半に株式・債券比率のリバランスを目的として株式ファンドの売却と債券ファンドの購入を行いました。また、積立などのご購入により、皆さまからお預かりした資金を利用して、定められた投資比率に従って、債券ファンドの購入を行いました。

ファンドマネジャーからの一言

今月は、株式に投資するファンドが全て上昇し、基準価額の上昇要因となりました。為替は、対ドルで円高、対ユーロで円安となり、基準価額の上昇要因となりました。結果、当ファンドの基準価額は上昇しました。当ファンドでは引き続き、将来への予測に依存することなく幅広く投資を行うことでリスクを分散しながら、皆さまの長期的な資産形成に資することができるよう努めて参ります。

運用部長 瀬下 哲雄

※変動要因については、右側の図1、図2もご参照ください。
※ファンドの基準価額は原則として2営業日目の株式・債券市場の終値を反映しています。

図1 12月度の投資先ファンド価格の変動による影響

※月末の投資比率に基づく概算値/投資先ファンド通貨建て

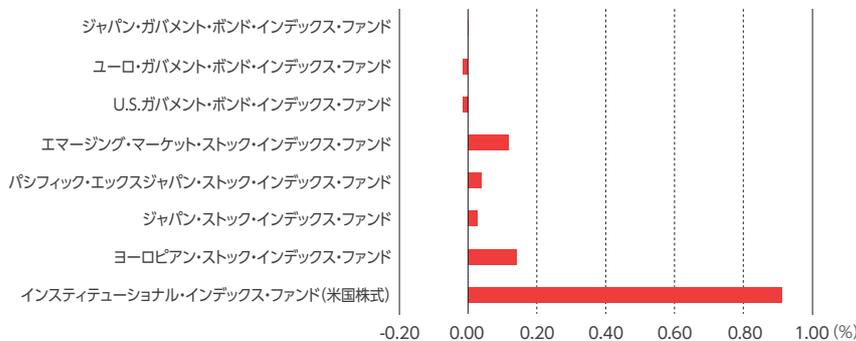
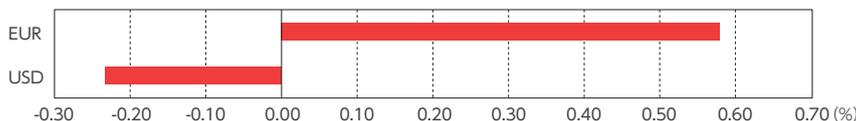


図2 12月度の為替変動による影響 ※月末の投資比率に基づく概算値



※詳細はセゾン投信HPに掲載しております「運用レポート(詳細版)」をご覧ください。

当ファンドに係るリスクについて

◆基準価額の変動要因

当社の運用、販売するファンド(以下、当ファンド)はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としております。一般に、株式の価格は、個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は、市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受けます。〔「価格変動リスク」〕また、当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。〔「為替変動リスク」〕その他の当ファンドにおける基準価額の変動要因としては、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。運用による損益は、すべてお客さまに帰属します。当ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものではありません。

◆其他のご留意点

当ファンドは、預金や保険契約と異なり、預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には、投資者保護基金の対象となりません。投資信託の設定・運用は委託会社がおこないます。

当ファンドに係る費用について

◆投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料:ありません。
- 信託財産留保額:換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に0.1%の率を乗じた額が控除されます。

◆投資者が信託財産で間接的に負担する費用

○運用管理費用:ファンドの日々の純資産総額に年0.506%(税抜0.46%)の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的にお客さまにご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.57%±0.02%程度(税込)となります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券における信託報酬を加味した実質的な負担額の概算値です。各投資信託証券への投資比率、各投資信託証券の運用管理費用の料率の変更等により変動します。

○その他費用:信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用(有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む)、監査報酬(消費税含む)、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことができません。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡す投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

「Vanguard」(日本語での「バンガード」を含む。)および「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社および承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. および Vanguard Investments Japan, Ltd. より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。従って、The Vanguard Group, Inc. および Vanguard Investments Japan, Ltd. は当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

委託会社：セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号
加入協会：一般社団法人 投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9：00～17：00 (土日祝日、年末年始を除く)